

スクールカウンセラー便り

令和6年 5月
日進 小学校SC
山田勝久

学期始めのイベントのひとつ、「係（かかり）決め」。争奪戦になる係もあれば、定員が少ないながらも希望者が確実にいる係もあります。お子さんたちがどんな基準で選んでいるのか、いまだにフシギです。

たとえば、「電気係（教室の明かりを消す）」。おうちでこまめに節電につとめている子や、エコ意識が高い子が希望する傾向があるのでしょうか？ 自分自身をふり返ると、整理整頓が苦手で、机の中をいつもゴチャゴチャにしていたのに、「美化係」をやっていましたし…。ナゾは深まるばかり。

お子さまの成長に生かす こころの知識



～ お手伝いパワー！！ ～

童話作家の木村裕一さんの本に、なかなか図工の作品作りを始めなかった子の話が出てきます。周りの大人が、「手伝ってあげる」と声をかけても、まったく動かなかったその子でしたが、別の子（少し年上）から、「手伝ってくれない？」と言われたとたんに、手を動かし始めた（手伝い始めた）のです。そうしているうちに最後は、自分の作品も作り、完成させることができました。

「手伝う」、つまり「他の人の役に立てること、役に立てる機会」は、なんだかやる気が出てくる、大きなパワーを持っています。時にはそれが、何かを始めることをためらってしまう子の背中を押す、きっかけにもなります。そして、「役に立てた自分（役に立つ自分）」に気づいて、自信がつき、次のことを始めやすくなる、という良い循環を作ることができます。また、「手伝いを自分にお願してきた人」というのは、「自分のことを評価して、期待してくれる存在」ですから、好感度が上がり、お互いの距離もちぢまります。さらに、「自分はここに、一緒にいてもよい」という「居場所感」ももてます。

とはいえ、手伝いを頼む人が、「誰でも良いから」とか、「手伝うのが当然」とか、“命令”っぽい雰囲気を出してしまうと、効果は望めません。「ワタシひとりの力では難しい。ぜひともキミの力が必要なんだ！」という気持ちを、しっかり本気で伝えると、お手伝いパワーがあふれてくると思います。

頼む方も、頼まれる方も、お互いに気持ちよくがんばれたら、良いこと、盛りだくさん。ぜひ、お手伝いの機会をうまく使ってください！

< ご案内 >

- ◆ ご相談をご希望の場合は、担任の先生か相談担当の先生にお申し出のうえ、ご予約ください。ご相談が可能な日時につきましても、先生にご確認ください。
- ◆ お話しくださいました内容は、秘密厳守いたします。お気軽にご利用ください。

日進小学校には、稲垣聡子カウンセラーと山田カウンセラーのお二人のカウンセラーがいらっしゃいます。
山田カウンセラーは、月1回 午前中に、日進小学校に勤務します。

1学期は、5/17(金)、6/14(金)、7/12(金)の予定です。

日進小 TEL.41-0995